

平成24年度 富士宮市立芝富小学校 グランドデザイン

県の教育方針

- ◎「有徳の人」づくり
- 「かけがえのない」存在としての子ども
- 確かな学力を育む「魅力ある学校」

市の方針

- ◎「富士山を心に、夢をもって生きる子ども」の育成
- 継承と創造、縦の接続・横の連携、環境素材の活用
- 学校力育成会議提言「アクションプランⅠ・Ⅱ」の実施

【 こんな芝富っ子に 】

- ①やさしく思いやりのある子に
- ②善悪を判断して行動できる子に
- ③人の話をしっかり聴き、考える子に
- ④知識や技能を活用できる子に
- ⑤最後まで粘り強くやり抜く子に

【 こんな先生に 】

- やさしく (人権尊重の姿勢で)
- きびしく (甘やかさない姿勢で)
- その気にさせる (肯定的児童理解で)
- ばをつくる (知恵と工夫で)

教職を「天職」と思える教師

学校教育目標

楽しく学ぶ芝富っ子

校訓 「規律・勤勉・自治」

重点目標

徳 温かな心をもとう
知 共に考え合おう
体 強い体をつくろう

計画(理念)
PLAN

楽しい
学校

実践
DO

学校経営目標

- 子どものために、仲良く、協力し、支え合う、職員集団となる。
- 子どもに「確かな学力」、「確かな気力・体力」をつける。
- 家庭・地域との連携・協力を大切に、みんなで育てる意識を高める。
- 子どもの「安全・安心」を第一にした「教育環境」づくりに努力する。

改善
ACTION

- 芝富ならではの教育課程編成
・教育課程説明会の実施(3月)
- 学校評価を生かして
・「改善は即時」を基本にする
・保護者・児童の声をできるだけ生かす
・結果を公表する(学校だより、市へ)
- 学校関係者評価の実施
・学校関係者評価委員会の実施
(学校評議員会・PTA三役会)
- 成果と課題の共有
・振り返り(職員会議、PTA理事会)
・成果と課題を明らかにする
・改善策の話合い

支える
地域

連携・協力

温かい
家庭

CHECK 評価

- 年2回、教職員による自己評価の実施 → 結果の考察と改善策検討
- 年2回、アンケートによる三者比較(教職員、保護者・児童)の実施
- 「教師十戒」で、日々の指導を振り返る

- 学び合う子の育成(研修テーマ)
- ①教材と響き合う
・やってみようという思いづくり(教材研究)
・興味関心を高める「教科書の活用」研究
- ②友達と響き合う
・深い子ども理解をもとに
・「共に学び合う」大切さを教える
- ③自分と響き合う
・自己との対話を自覚させる
- 心と体を鍛える学校生活
・めあてを持たせ、粘り強く挑戦させる
・新体カテットの記録向上をめざす
・スマイル活動で温かな心を育てる
・心に響く道徳指導・生徒指導
・活動を通して、働く大切さを教える
- 家庭学習・読書を充実させよう
・家族揃って食事をしましょう
・家庭学習の習慣をつくりましょう
・子どもを「誉めて」伸ばしましょう
・公共のルールを教えましょう
- 郷土を愛する活動・学習
・地域素材を積極的に活用する
・「教育の日」を生かして
・「富士山の日」を生かして
・「富士山学習partⅡ」を充実させて
- 学校支援地域本部を活用して
・図書・読み聞かせボランティアの活用
・地域人材の積極的な活用